

# ひゅうが市議会だより 陽だまり

H I D A M A R I

6  
月号

2017  
No.150

## 高額滞納市税 回収のために提訴

### CONTENTS

- 03 5月臨時会
- 04 6月定例会
- 特集
- 09 「議会改革度ランキング」
- 10 一般質問

# 第4回臨時会

## 訴えの提起、専決処分などを審査しました

5月30日に開いた第4回臨時会で、提案された報告9件、事件決議1件、平成29年度補正予算1件の合計11件を原案どおり承認・可決しました。

### ① 報告（「専決処分\*」）の内容について

今回報告された専決処分は次のとおりです。

<b>報告 1</b> 日向市消防団員等公務災害補償条例の一部改正 全員一致	<b>報告 2</b> 日向市税賦課徴収条例等の一部改正 全員一致	<b>報告 3</b> 日向市国民健康保険税条例の一部改正 全員一致
<b>報告 4</b> 平成28年度日向市一般会計補正予算(第7号) 全員一致	<b>報告 5</b> 平成28年度日向市公営住宅事業特別会計補正予算 全員一致	<b>報告 6</b> 平成28年度財光寺南土地区画整理事業特別会計補正予算 全員一致
<b>報告 7</b> 平成28年度日向市簡易水道事業特別会計補正予算 全員一致	<b>報告 8</b> 平成28年度日向市国民健康保険事業特別会計補正予算 賛成多数	<b>報告 9</b> 平成28年度日向市介護保険事業特別会計補正予算 全員一致

報告第8号は賛成多数で、そのほかの報告は全員一致で承認しました。

### ② 事件決議「議案第39号 訴えの提起」(滞納市税回収のための提訴)について

#### 提案理由

高額な滞納市税を回収するために、市が差し押さえている滞納者の土地の登記内容を詳細に調査した結果、設定登記されている根抵当権の根拠に疑義が確認できたので、これを抹消しようとする滞納者に代わって、その登記権者相手に、登記の抹消手続き等を求めて提訴するものです。

#### 「根抵当権」とは

継続的な取引関係を行う際、あらかじめ、ある一定の限度額の範囲内で担保する抵当権のこと。この根抵当権を定めておけば、借入れをする度に抵当権を設定する必要がなく、何度でも限度額内で貸借が可能です。

### ③ 平成29年度 日向市一般会計補正予算(第1号)

内容としては、②の「議案第39号 訴えの提起」にかかる訴訟費用を計上したもので、補正額は157万1千円。

# 第3回臨時会

## 新たな議会構成が決まりました

5月15日に開いた第3回臨時会において、正副議長の選挙を行いました。また、市長提案の「監査委員の選任について」に同意しました。その後、各委員会の委員を選任し、互選により正副委員長を選出しました。

### 日向市議会構成一覧表



第35代 議長 甲斐 敏彦  
 第34代 副議長 黒木 金喜  
 監査委員 黒木 高広

(●は委員長、●は副委員長)

常任委員会		特別委員会	
総務政策 (7人)	●三樹喜久代 畝原 幸裕 黒木 高広 木田 吉信	●岩切 裕 谷口 美春 日高 和広	総合防災対策 (7人)
文教福祉環境 (7人)	●松葉 進一 黒木 金喜 富井 寿一 柏田 公和	●森腰 英信 近藤 勝久 荻原 紘一	議会改革 (7人)
産業建設水道 (7人)	●海野 誓生 友石 司 黒木 万治 西村 豪武	●若杉 盛二 治田 修司 溝口 孝	公共施設マネジメントに関する調査 (7人)
日向東臼杵広域連合議会議員 (8人)	畝原 幸裕 日高 和広 岩切 裕 西村 豪武	若杉 盛二 海野 誓生 柏田 公和 甲斐 敏彦	議会広報 (8人)
北部広域行政事務組合議会議員 (3人)	松葉 進一 谷口 美春	友石 司	議会運営委員会 (8人)
			●西村 豪武 松葉 進一 近藤 勝久 海野 誓生
			●木田 吉信 森腰 英信 三樹喜久代 黒木 万治

**補正予算 助成金、交付金の決定などで補正されました**

本市の当初予算は、10年以上前から、国の補正や突発的な災害対策など以外の理由では年度途中で補正を行わない、いわゆる「通年予算」で編成されています。背景として財政難があり、将来に向け財源を残すために、使い切るのではなく適切に使って残すという考え方に基づくものです。よって、近年補正の内容も限られ、金額も少なくなってきました。

**一般会計補正予算について**

**① 債務負担行為<sup>\*</sup>の設定**

来年7月に委託期間の終了を迎える学校給食調理業務の、次期5年間の契約手続き準備のために、将来分も含めて委託料の限度額（5億4,700万円）を設定するものです。

**② その他の内容**

**自治公民館の整備助成**

合計**1,640万円**（助成金）

内訳  
南町区:公民館の備品、設備費として**140万円**  
江良区:公民館建設整備費として**1,500万円**

一般財団法人「自治総合センター」所管の宝くじ社会貢献広報事業である「コミュニティ助成事業」の採択を受けたため補正

**林業成長産業化地域創出モデル事業**

合計**210万円**（県支出金、一般財源）

延岡・日向地域が、林野庁の「林業成長産業化地域」に選定されたので、国のモデル事業を活用し、素材生産量の増加に対応した再造林、担い手対策を進め、資源循環型林業システムの構築を図るための補正

**スポーツキャンプ活性化事業**

**580万円**（一般財源）

ロッカールーム等として利用するコンテナハウスの賃貸借費用及び工事費を補正

**サーフタウンプロモーション事業**

**290万円**（一般財源）

HPの運営管理委託料が地方創生推進交付金の対象外となったため、市の単独事業として補正

**定住促進事業**

**200万円**（交付金）

一般社団法人地域活性化センターの「移住・定住・交流推進支援事業」の交付決定を受け、増額補正

**快速型ミニバス椎葉線運行経費**

**90万円**（地域振興基金繰入金）

今年度後半6ヶ月間の経費。運行経費から運行収入を差し引いた金額を関係市町村が距離に応じて負担

合計で**5,790万円**補正しました

**国民健康保険事業特別会計について**

① 保険給付費…保険給付費見込額を、平成28年度の動向を元に減額補正	↓	1億3,352万円
② 後期高齢者支援金等…平成29年度の後期高齢者支援金等の額の決定に伴う減額補正	↓	4,837万円
③ 前期高齢者納付金等…平成29年度の前期高齢者納付金等の額の決定に伴う増額補正	↑	240万円
④ 介護保険納付金…平成29年度の介護保険納付金の額の決定に伴う減額補正	↓	2,884万円
⑤ 予備費…平成29年度国民健康保険税の算定に伴う予備費の減額補正	↓	3,167万円

合計で**2億4千万円**減額されました

※保険税の算定において、不足額は国民健康保険基金を活用して歳入を補正し、税率は据え置き。給付費の見直し、各種納付金額の確定に伴い予算の過不足分を補正。



こんなことを  
審査し、決めました

人事案件 <sup>*</sup>	財産の取得	補正予算 <sup>*</sup>
14件	2件	2件

計**18件**の議案が提案

**Pick Up**

**人事案件 日向市農業委員会委員14人の任命に同意しました**

**新しい農業委員の皆さん**（※敬称略）  
★マークは新委員です。

任期：平成29年7月20日～平成32年7月19日の3年間

黒木 耕作 <b>日知藤</b>	★安藤 嘉弥 <b>美々津</b>
★鈴木 一徳 <b>富高</b>	黒木真壽美 <b>美々津</b>
★細川 豪邦 <b>塩見</b>	股野 満男 <b>美々津</b>
★山本 孝志 <b>塩見</b>	鈴野 浅夫 <b>東郷</b>
黒木 藤市 <b>塩見</b>	田原 千春 <b>東郷</b>
児玉 恭司 <b>平岩</b>	寺原 勝 <b>東郷</b>
★溝口 秀樹 <b>平岩</b>	那須 成章 <b>東郷</b>

農業委員の選任は、法律、条例等の改正でこれまでの公選制から市長の任命制に変わり、議会の同意が必要になりました。審査では公選制の廃止、また農地保全・遊休地活用等に対し農業委員会が果たすべき役割、特に女性・青年の選任に重視した点、具体的な選任方法等について質疑があり、農業委員会本来の役割を十分果たせることを念頭に選任を行ったこと、具体的には、応募のあった自薦他薦の30人から、認定農業者かどうか、農業委員経験の有無、また農業従事歴の有無など経験、識見の評価を行い、獲得点数の高い方から14人を選んだなどの答弁があり、全員一致で同意しました。

**財産の取得 巨大地震・津波に備え、避難山を造成する土地と災害対応機能を持つ小型ポンプ付き大型水槽車を購入**

**避難用の山を造成する土地**

切島山2区に造成する予定の避難山（津波避難用の山）の土地購入契約が提案されました。審査では、評価価格、頂上部面積の根拠などについて質疑があり、価格は鑑定評価に基づき、面積は、0.5㎡/人で2,920人収容で算出しているなどの答弁がありました。

予定価格 **9,300万円**

所在地：大字財光寺池  
1564番地3の一部  
面積：9,122.94㎡  
相手方：宮崎県森林組合連合会



**災害時の給水も可能な水槽車**

昨年度、落札業者が契約前に辞退。今年度、1,200万円上乗せして入札し、同じ業者が落札。価格の妥当性、仕様の変更等について質疑があり、タンク容量を小さくし、価格は全国の納入実績等を調査して決定したなどの答弁がありました。

取得価格 **4,300万円**

総重量：20トン未満  
主な装備：8トン水槽タンク、4サイクル小型動力ポンプ  
給水用カラン（蛇口5カ所付き）、後進用バックアイカメラ  
赤外線サーモグラフィ



# 委員会におけるQ&A

(委員長報告の中から、抜粋して紹介します。)

## 委員会とは？

日本の自治体議会は、**委員会制度**が採用されていて、詳細な審査は本会議ではなく委員会で行います。定例会最終日の本会議で、各委員会の委員長から審査結果の報告を受け、それを踏まえて採決が行われます。



### 避難山にハチマキ状道路を設ける訳は

管理用道路として設置した。避難は徒歩が前提と考えている。通常車は入れないが、車いすは横を通り上げられるようになっている。



▲ 避難山建設予定地

総務政策委員会



### 災害対応小型動力ポンプ付大型水槽車、価格アップの理由は

平成28年度3100万円で契約できなかった。今年度、ほとんどの業者の見積額が5千万円を超えていたため、1200万円上積みして入札を行った。

総務政策委員会



### 医療費の動向と滞納額の現状は

**ジェネリック医薬品の普及率80%を目標に**  
特定健診等に力を入れ、健康寿命を延ばすことや健康づくり出前講座で医療費の適切な使い方を指導するなどジェネリック医薬品の普及率80%を目標に、医療費の削減に取り組む。国保税滞納額約4億9千万の解消については、生活状況等の相談を受け、納税指導を行う。

文教福祉環境委員会



### 学校給食に地元食材の使用を

できるだけ地元業者の野菜や肉、砂糖、醤油を使用する方向で努力している。

文教福祉環境委員会



### 延岡・日向地域林業成長産業化地域構想とは

地域の原木需要の増大に対応し、林業を健全な姿で後世に引き継ぐため、伐採後の再造林をすることで、持続的な資源循環型林業のモデルを構築するというもの。

産業建設水道委員会



### 快速型ミニバスの所要時間、運行日、運行事業者は

運行日は火曜日と木曜日の週2日

現在、2時間半かかっている路線を2時間弱で運行し、運行日は火曜日と木曜日の週2日とした。運行事業者は、今年度半年間は随意契約とし、次年度以降は入札で調整していく。また現行、国県の補助対象要件の乗車人数ぎりぎり、今回の快速型バスという選択肢を設けることで、公共交通機関の持続性を探りたい。

総務政策委員会



### 児童クラブの待機児童26人の対応、障がい児の受け入れは

できる限り受け入れに努力する

待機児童のうち、大王谷児童クラブの9人は大王谷児童館を、日知屋東児童クラブの2人は日知屋児童館を利用していると思われる。財光寺児童クラブの15人は、夏休みには受け入れるようにしたい。障がい児の保育は、昨年から対象児童が多くなり、17名を受け入れている。今後も社会福祉協議会と協議を重ね、受け入れに努める。



▲ 日知屋児童クラブ おやつ時間

文教福祉環境委員会



### クルーズ客船の誘致と乗船客の動向は

県、7万トン未満の船は細島港

県の政策として、7万トン以上は油津港、それ以下は細島港に誘致活動が進められている。乗船客の動向は、中国系の船は7〜8割の人がバスツアーで団体行動し、行先は半部分が市内で、あとの半分は高千穂や宮崎方面。欧米系の船は、日本まで飛行機で来て、船で周遊するというケースが多く、単独行動あるいは小グループで移動する人が多くなっている。



▲ ばしふいっくびいなす号

産業建設水道委員会



### 認証材の需要の見通しは(「森林認証取得支援事業」に関連して)

伐採事業者や製材工場が分別、差別化

森林認証材の木材や製品は、その製品に認証ラベルを貼ることで差別化される。認証材は、環境に対する関心の高まりを背景に、有利な販売につながり、東京オリンピック・パラリンピックを契機にさらに需要が拡大するものと期待されている。

産業建設水道委員会

### アンケートへのご協力 ありがとうございました

前月号で市議会に関するアンケートをお願いしたところ、145名(7月19日時点)の方からご回答いただきました。皆さんからいただいたご意見は、今後議会改革特別委員会で集約、分析を行い、これからの議会活動に生かしていきます。



早稲田大学マニファエスト研究所が実施した議会改革調査で、日向市議会は前年度166位から73位へと飛躍的にランキングを上げました。

今回は2017年3月に全地方議会にメールまたは郵送で調査依頼を送付し、全自治体の75.3%にあたる1347の議会から回答がありました。そのアンケートに基づき、住民参加や情報公開度などの順位付けを行っています。

1位は3年連続で北海道芽室町、九州は最高でも福岡県古賀市の49位となっています。

その中で日向市議会は議会基本条例を制定したことなどが評価され、宮崎県内でのトップを獲得することができました。

同研究所は、「議会改革に取り組む議会と取り組んでいない議会に二極化している。住民は議会に関心の目を向けて厳しくチェックしてほしい」と述べています。

私たち議会も、情報共有、住民参加、議会機能強化をさらに図り、議会の役割をしっかりと果たせるよう、今後も努力していきます。

この調査は早稲田大学マニファエスト研究所の議会改革調査部が2010年から始めたものです。  
全議会における改革度状況の確認、議会における自己評価および改革策の提示を目的としています。

## 県内 No.1 獲得 議会改革度ランキング

## 私たちと気軽に話をしませんか?



日向市議会では議会改革の一環として、皆さんのご意見を反映するために、昨年から「市民懇談会」と銘打ち意見交換の場を設けています。この市民懇談会は、組織や団体はもちろん、職場の仲間やサークル(学生でもOK)などおおよそ5名を超える皆さんからの誘いや要請があれば、議員の方から出かけて行き、ざっくばらんに意見交換を行うというものです。また、聞いて終わりではなく、その場で出されたご意見などは必要に応じて議会に対応していくこととしています。具体的なテーマを設定していただくと、より活発な意見交換ができます。



▲市民懇談会の様子

**お申込先**  
議会事務局 Tel.0982-52-8348  
※開催を希望する方は1ヶ月前までにお申込ください。

**開催場所**  
場所はどこでも可能です  
※場所と時間については、調整により決定いたします。

**時間**  
夜間や休日でも開催することが可能です  
※詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

市民懇談会  
募集中

多くの皆さまのお問い合わせお待ちしております♪

## 賛否が分かれた議案と結果

提出者	議案名	議員名	結果																					
			甲斐敏彦	松葉進一	若杉盛二	森腰英信	友石司	治田修司	谷口美春	黒木高広	黒木金喜	近藤勝久	日高和広	三樹喜久代	富井寿一	海野誓生	黒木万治	荻原紘一	畠原幸裕	岩切裕	木田吉信	溝口孝	柏田公和	西村豪武
5月臨時会	監査委員の選任について ※可否同数により議長採決で同意	同意	※	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認について (平成28年度日向市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月定例会	平成29年度日向市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、●は反対。議員名は左から議席順。甲斐敏彦議員は議長職のため表決権はありませんが、可否同数の場合は議長裁決権があります。監査委員の選任については、黒木高広議員は選任を受ける立場のため、表決権がありません。

## 討論

### 平成29年 第4回 5月臨時会

**反対**  
専決処分の承認について  
(平成28年度日向市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号))

深刻になっている国保の財政問題の原因は自民党政権による国の負担削減にある。この解決をはかるには市町村の共同事業にゆだねる道でなく、国庫負担割合を給付費の5割から元の6割に回復させることだ。【日本共産党市議団】

**賛成**  
訴えの提起について

差し押さえ後4年間に適切な対応がなされておれば、訴訟にならなかつたと思う。この提訴を機に、多額の債権の管理のあり方について、全庁的に再度しっかり整理し直す契機にすべきことを確認して賛成する。【岩切裕議員】

### 平成29年 第5回 6月定例会

**反対**  
平成29年度 日向市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

国保の加入者は貧困なのに保険料は高すぎて払おうと思っても払えず、滞納額は4億8955万円となっている。国保料を引き下げるために国の負担割合を、現在の給付費の5割から元の6割に引き上げるべきだ。【日本共産党市議団】

## 請願・陳情と審議結果 市民からの提案として審議しました

**継続 請願 第13号**  
大規模太陽光発電施設設置に日向市の適切な関与を求める請願書

■ 請願者  
日向市東郷町山陰21165-1 東郷町の自然環境を守る会 代表 草留幸典さん

■ 趣旨  
大規模太陽光発電施設に係る一連の開発行為について、日向市として基本計画、条例、要綱、ガイドライン等のルールを制定し、自然環境、生活環境の保全と再生エネルギーの活用の調和を図り、「自然と共生した快適な環境のまち ひゅうが」を実現してほしい。

結果 | 継続審査

**継続 請願 第14号**  
市道433号線(日知屋第1号幹線)の延長及び市道922号線(四区産業道路)との接続に関する請願書

■ 請願者  
日向市大字日知屋17305番地 倉本鐵工 株式会社 代表取締役 倉本英和さん

■ 趣旨  
市道433号線(日知屋第1号幹線)を延長して市道922号線(四区産業道路)と接続してほしい。または、市道738号線(堀川1号線)を拡幅延長して市道922号線(四区産業道路)と接続してほしい。

結果 | 継続審査

**新規 陳情 第6号**  
社会福祉法人良純会(現博陽会)の健全運営確立のために

■ 陳情者  
日向市亀崎東4丁目84番地 社会福祉法人良純会 初代理事長 江藤紀美子さん

日向市亀崎東4丁目49番地マーキーⅢ401 良純会 創業者元理事 松本弘志さん

■ 趣旨  
社会福祉法人良純会(現博陽会)の運営に関して、法人運営の正常化に向けた指導をお願いしたい。

結果 | 不採択

みなさんの代わりに尋ね、また政策を提言しました。

# 一般質問

## 一般質問とは？

一般質問とは、議員が、市の政策などに対してその執行の状況、課題または将来の方針などを市長などに直接質問したり、政策提言を行うことです。今回も、さまざまな質問、提言がありました。その中から各議員が選んだ質問と答弁を紹介します。



### 森腰英信 議員からの質問

- Q1** ふるさと納税の今後の取り組みは
- Q2** いじめ問題への取り組みは



い。そこで本市の現状とその取り組みを伺う。

**Q1** 昨年度急激な落ち込みを見せたふるさと納税寄附額であるが、その要因分析は甘いと言わざるを得ない。近隣の都農町が50億円と大幅に増加している中、本市の今後の取り組みはいかがか。

**A** 県内各市で実績のあるポータルサイト等の研究や各種イベントでのPR、専門情報誌への掲載などで寄附額を伸ばしていきたい。

また返礼品事業者は、年間を通じて随時募集しており、地元業者に門戸を開いている。新たに加えた体験型メニューとともに、本市の魅力を生かしてPRし、地域経済の活性化を図りたい。企業版ふるさと納税については、企業から賛同を得られるような地域貢献度の高い特色ある事業の企画立案に取り組みたい。(市長)

**Q2** いじめ防止対策推進法施行以来、いじめ問題に真摯に取り組まれているが、全国的にいじめを原因として命を絶つ子が後を絶たない。

**A** 現在、市内小中学校でのいじめの認知件数は457件で、そのうち445件は解消している。いじめの未然防止・早期発見・早期解消を図る取り組みが最も重要だと考えている。そのためにも、毎月のアンケート調査や教育相談体制を充実させ、更には子どもたちと直接関わる時間を増やすことにより、小さなサインを見逃さないよう努めたい。また、本市では報告されていないが、いじめの要因となっているLGBT(性的少数派)の理解を深めていきたい。(教育長)



▲日向市納税パンフレットと専用サイト

### 谷口美春 議員からの質問

- Q1** 共謀罪法案に対する市長の認識は
- Q2** 国保運営の都道府県化(広域化)を問う
- Q3** 子どもの未来応援推進計画の施策を問う



**Q1** この法案に対しては、さまざまな問題点が指摘されている。もっとも重要な問題は、憲法で保障されている「思想」「表現」の自由や、心の中を侵害するといった点である。この法案に対する市長の認識を問う。

**A** 「思想・良心」などの「内心」の自由や「表現」の自由は、憲法で保障されている。侵害することできない国民の権利である。(市長)

**Q2** この法案と、個人情報保護法及びマイナンバー法との関連について認識を問う。

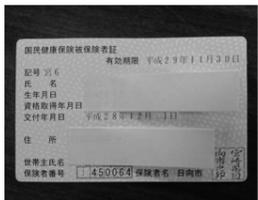
**A** それぞれの立法趣旨、目的に沿った運用がなされることが重要。国は国民に向けた丁寧な説明をしてもらいたい。(市長)

**Q3** 来年4月から国民健康保険の運営が県に移管されるが、具体的にどう変わるのか。

**A** 都道府県が財政運営の責任主体となり医療費総額を推計し、市町村ごとに国保事業費納付金を決定し提示する。それを受けて市町村は、提示された納付金額を賦課・徴収して都道府県に納付する。(部長)

**Q3** 「家計の支援」「環境の整備」「能力の形成」の指標を達成するための具体施策は。

**A** 本計画では指標達成に向けて、子どもの成長段階に応じたサポートなど4分野38の重点施策を掲げた。庁内連携を図りながら取り組んでいきたい。(市長)



▲国民健康保険証

### 岩切裕 議員からの質問

- Q1** 細島小学校整備は専門機関と公民連携で
- Q2** 体育館建設基金設置に
- Q3** 自治法施行70周年に際して



**Q1** ファシリテータマネジメント(公共施設の維持管理)の具体的な取り組みとして、細島小学校の整備は、ハード・ソフト両面のあらゆる可能性の全体を知るために、計画立案の当初から専門機関との公民連携を進める必要があると思うがどうか。

**A** 総合体育館の整備規模等については、既存体育施設の統廃合や複合化の可能性、ランニングコスト等を含めて総合的な検討が重要。多額の費用負担が見込まれるのでPPP、PFI手法の活用も検討し、財政的なシミュレーションを行っていきたい。(市長)

**Q2** 総合体育館建設基金設置に関して、ファシリテータマネジメント、アセットマネジメント(資産管理)推進方針との整合性、またLCC(ライフサイクルコスト)の財政影響への認識を問う。

**A** 今後、改築にあわせた周辺公共施設との複合化について、地元の意見を踏まえた方向性を定めていく予定。\*PPP、\*PFI手法の導入の可能性に関して、庁内で調査・研究を進めながら、さまざまな機関との連携も検討していきたい。(市長)

**Q3** 自治制度の理解は民主主義の支柱。生徒たちにとって身につけさせることが必要。考え方や方針を問う。

**A** 中学生までに刻まれた記憶と体験は、生涯にわたって生きて働くものになる。中学生の時期に地方自治についてしっかり指導し、実感を得た理解を伴ったことが必要だ。(教育長)



▲昭和31年建築の細島小学校

柏田 公和 議員からの質問

- Q1 東郷病院 医師3名体制継続期間の担保は
- Q2 2つのプログラムを使いこなせる能力は
- Q3 NHK大河ドラマに細島を



Q1 あくまでも東郷病院を従来どおり医師3名体制で運営していくなら、あと何年継続できるか担保できないければ、今後のことは計画できないのではないか。

Q2 今、一生懸命3名体制で東郷地区の皆さんに医療サービスを提供している。不測の事態等あるので、そのことを確認して答弁してほしいと言われても厳しい。継続していただくことを前提に物事を進めなければ進まないと思っている。(市長)

Q3 ノーバディーズパーフェクトプログラムと、コモンセンスペアレンティングプログラムをこども遊センターに業務委託することであるが、遊センター職員の対応はどうか。

A こども遊センターでは、両プログラムとも必要なファシリテーター

の資格を持つ職員を確保しているなど、2つのプログラムを実施する能力や経験を有している。(部長)

Q2 幕末から明治維新にかけての細島が「日向送り」という言葉で全国発行のコミック漫画の中で紹介されている。「日向送り」が黒田の家臣につながっていることを考えればNHKの大河ドラマに細島を打ち出すチャンスではないかと思うが。

A しつかりと取り組まなければと感じている。機会があればNHKの方にも話をしていきたい。(市長)



▲黒田の家臣

松葉 進一 議員からの質問

- Q1 市道南日向・日の平線の早期整備を
- Q2 市営美砂住宅の共益費不足への対応は



Q1 本道路は、鶴毛、日の平地区55世帯のきわめて重要な生活道路となっており、事業の進捗率は59.8%である。未整備区間には、道路幅が3m未満の所もあり、落石も恒常的に発生し、また、中学生の通学路にもなっており、安全性を危惧する声も出ている。早期整備と、問題のある区間に対する安全策を問う。

Q2 市営美砂住宅は、入居戸数の減少で施設費用を共益費で賄えない事態が発生しているが、市の対応は。

A 本路線は、鶴毛区から市街地へつながる重要な生活道路である。事業が長期化している路線なので、平成28年3月策定した「日向市道路整備実施計画」において重点整備路線と位置づけた。早期完成に向け、進捗に努める。今後も、建設委員会の役員の方々と連携を図りながら、「安心・安全な道づくり」を促進する。事業期間中の未改良区間については、道路の維持補修等にも努める。(市長)

A 管理戸数97戸のうち、空き戸数は28戸である。6月の入居者募集で2戸の応募があった。今後の入居対策として、移住希望者の入居を目的とした「公営住宅の地域対応活用」という目的外使用を九州地方整備局に申請している。許可されると、市外からの移住希望者や若年層の単身での一時的な入居が可能になる。また、今年度から、60歳以上の単身者が入居できる住宅を、美砂住宅も含め拡大し、入居者の確保に努めている。(市長)



▲市道南日向・日の平線

西村 豪武 議員からの質問

- Q1 適法性が疑われる職員面接官は廃止すべきだと思いが、いかがか
- Q2 効率的な行政経営の具体策を示せ

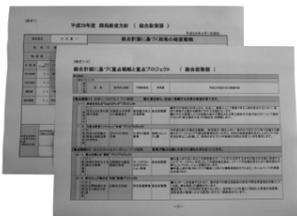


Q1 市職員採用は、試験の面接官に職員組合代表2名が入って実施されている。他市に例のない悪しき慣習は廃止すべきだ。地方公務員法第55条第3項で禁止されている「管理運営事項」を対象とした交渉結果である疑いを払拭できない。

A 職員採用試験では人物評価を客観的かつ多面的に行うため、面接官は公平、公正の面から担当職等見識のある人材を配置している。氏名等の開示は、一般にはできない。(市長)

思うが、いかがか。

A 民間活力の導入は、あらゆる業務について必要性や効果を検証し「民間にできることは民間に委ねる」との基本方針に基づき、積極的に推進する。定員管理についても行政改革の中で総合的に勘案して取り組む。タイムレコーダーは事務の効率効果が薄く導入していないが、最近、厚生労働省が、「ICカード、パソコンの使用時間の記録など客観的な記録を基礎として、労働時間を把握するよう」と基準を公表しており、職員の健康管理のため電子出勤簿を導入する自治体も増えているので、今後調査していきたい。(市長)



▲部局経営方針

萩原 紘一 議員からの質問

- Q1 憲法改悪を許さず憲法を生かした平和の道を
- Q2 JR美々津・幸脇地域の騒音対策を
- Q3 安心して農業ができる水の対策を



Q1 安倍首相は、憲法記念日に憲法9条に自衛隊を明記する改憲を行い2020年に施行を目指すことを表明した。これは「9条1項、2項は残し自衛隊の記述を3項として書き加える」というもの。こうなれば単に存在する自衛隊の憲法上の追認にとどまらず無制限の海外での武力行使に道を開くことになる。9条2項を残したとしてもその死文化が図られ、3項に書かれた自衛隊の存在理由を根拠にして自衛隊の危険な役割が広がっていくことになる。これは国民の願いに反する憲法大改悪で断じて許してはならないと考えるがどうか。

話、テレビの視聴や安眠などの妨害に対策が必要だ。関係地点での騒音測定の実態について伺う。

A 耳川を渡る鉄道付近の4地点で簡易測定を行っている。最大値は石並で95.4デシベル、耳川右岸100.4、左岸で95.6、腰越83.6デシベルとなっている。(部長)

Q3 美々津地区百町原などの状況からも石並川、水無川の河川の水量を確保するための総合的な対策をたてることが求められているが、いかがか。

A 間伐などの森林整備を促進し、裸地については、植栽等による更新を指導していきたい。(部長)



▲憲法を守り平和の道を

Q2 JRの騒音による関係住民の日常生活における電話での会

### 木田 吉信 議員 からの質問

- Q1 日向市の財政難を踏まえた自主財源確保
- Q2 市場化テストの導入を
- Q3 ごみ収集の民間委託を



Q1 市税の滞納状況と滞納金額及び今後の取組みを問う。

A 現年度の市税滞納額は平成26年度が3億5554万円、27年度が3億2918万円。国民健康保険税の滞納額は平成26年度が4億7596万円、27年度が4億5387万円となっているが、28年度は減少の見込みである。今後とも、納税相談や納税指導を継続し、安定した収入の確保を図っていききたい。(部長)

(市長)

Q3 ごみ収集業務の民間委託、生ごみの資源化、有料化について問う。

A ごみ収集業務の一部民間委託により、職員は8名減員している。委託地区拡大の際は、収集ルートの見直しを行い、違反ごみの啓発に力を入れた。今後の民間委託の拡大は、コストや減量化の比較などの検証をふまえ、その方向性を決定していきたい。生ごみの資源化は循環型社会の形成に有効な手段であるが、費用対効果の面で課題が多く、現段階では実施できる状況ではない。有料化についても、消費税の増徴や社会情勢、市民意識を考慮して慎重に判断したい。(市長・部長)



▲生ごみ処理バケツ

Q2 民間活力の積極的な活用と市場化テストの導入について問う。

A 「民間にできることは民間に委ねる」という基本方針に基づき、必要性や効果等を検証しながら積極的に進める。市場化テストについて、市でも研究を行ったが、法律により業務が限定されており包括的な委託ができない、受託事業者の従業員の指揮命令について課題があるなどの理由で導入に至っていない。

### 黒木 金喜 議員 からの質問

- Q1 東郷病院の改築と入院再開は
- Q2 農業の振興と観光の推進を問う
- Q3 日向市歌とイメージソング制定



Q1 医師3名体制となり、地域医療、災害拠点病院として早期の改築と入院再開を市民は望んでいるが、その時期と、CTの導入、東郷分遣所への救急車配備について問う。

A 入院再開には、宿日直医師、看護師の確保、入院に関する業務委託業者の選定契約、国や県への届け出等ある程度の期間が必要であり年内の再稼働を目指す。改築基本計画は診療縮小により休止している。CTについては、受電設備更新や特殊工事が必要であり改築計画の休止とともに現在見合わせている。救急車配備は引き続き検討していく。(市長)

Q2 請件数25地区で7地区設置し、18地区が未設置である。増頭対策として、JAの繁殖センター利用や市の和牛養牛導入事業、畜産クラスター事業を活用し推進したい。(部長)

Q3 道の駅とつごう及び詩季彩の駐車場改修計画、日向市駅改札口の椅子増設について問う。

A 宮崎県県土整備部と協議中である。防災拠点整備計画も示されており今年度策定を終え県に要望する。駅の椅子増設は利用形態から困難である。(部長)

Q3 合併後の醸成を図り、市歌に4番追加とイメージソング制定はいかがか。

A 現在のところ考えていない。(市長)



▲道の駅とうごう

### 治田 修司 議員 からの質問

- Q1 手話言語条例施行後の新たな取り組みの状況
- Q2 就業援助の前倒し支給
- Q3 人口減少時代における日向市の取り組み



Q1 手話奉仕員養成講座に加え、新たな取り組み状況について問う。

A 昨年4月の条例施行後の新たな取り組みとしては、市民手話講習会を開始したところであり、昨年度は学校やグループ、事業所など14の団体等において講習会を開催した。また、昨年7月に庁内窓口18カ所に筆談用ボードを設置し、「コミュニケーション」の円滑化を図った。(部長)

Q3 人口減少はさまざまな分野へ影響を及ぼしていくが、本市の自衛策を問う。また職員数についても今のままで良いのかという問題が出てくるのではないかと。

A 「元気な、日向市、未来創造戦略」のもと「第2次日向市総合計画」を着実に推進し、雇用の確保だけでなく、教育や医療福祉、安全安心なまちづくりなどで、若者が住みたいと感じるまちづくりを推進することが重要であると認識している。職員数においては多様化する市民ニーズに対応しつつ、サービスの低下を招くことがないように、適正な定員管理に努めていきたい。(市長)



▲ランドセル購入費などの就学援助

Q2 要綱が改正され、低所得者世帯に向けたランドセル購入費などの入学前支給が可能となった。平成30年度から実施できるよう、予算措置やシステム変更などの準備を進める必要があるのでは。

A 支給対象者に就学予定者という文言が加わったので、本市としても要保護児童生徒に対する入学準備費用については、入学前に支給できるよう検討していきたい。(教育長)

### 黒木 万治 議員 からの質問

- Q1 「まち・ひと・しごと創生法」の取り組みは
- Q2 目指す将来像は
- Q3 子どもの医療費無料化への国のペナルティへの対応は



Q1 まち・ひと・しごと創生法の取り組みを具体的に問う。

A 「日向の若者、未来づくりプロジェクト」を重点に掲げ、ふるさと地域人財づくりを目的としたドラゴンアカデミーの開催や、キャリア教育支援事業の拡充、高校魅力向上支援事業に取り組んでいる。(市長)

Q3 厚労省は、窓口負担を減免するからと、増えた医療費分については助成を行っている自治体が多いため負担するのが「公平」ということで、国庫負担分を減額している。これを直ちに廃止させるべきだと質問してきたが、その後どうなっているか。

A 国においては、全市町村が未就学児まで何らかの助成措置を実施している実態をふまえ、平成30年度から未就学児までを対象とする医療費助成については、国保の減額調整措置を行わないと決定した。本市では現在、子ども医療費助成の対象を「中学生まで」に拡大している。引き続き、減額調整措置を廃止するよう要望していきたいと考えている。(市長)



▲総合政策課内の推進本部

### 三樹 喜久代 議員 からの質問

- Q1 2025年に向けて介護の人手不足の解消を
- Q2 男女共同参画の推進を
- Q3 がん教育の取り組みは



Q1 介護職員の確保について市はどのように取り組んでいるのか。

A 国では、介護人材の処遇改善、離職した介護人材の呼び戻し、新規参入促進、離職防止・定着促進、生産性向上等の対策を推進している。本市においても、対策が具体的に反映されるよう、県や関係機関と取り組む。(部長)

Q2 自宅介護が方向づけられる中、「ショートステイ」のニーズが高まっている。整備の必要性を伺う。

A 既存の介護サービス事業に加え、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所などの充実を目指す。(部長)

Q3 今後、「さんびあ」に推進の強化を期待するところは何か。

A 「第5次日向市男女共同参画プラン」策定前の市民意識調査では、「さんびあ」の認知度が低い状況。まずは情報発信が必要と認識し、独自のホームページを開発するなど、関係機関や団体とのネットワークを構築しながら、各種講座や講演会の充実に努めたい。(市長)

Q1 がんは、日本人の2人に1人が生涯のうちにかかる国民病である。本市のがん教育の取り組みを伺う。

A 国では、平成28年4月にがん教育の教材を作成するなど、学校の取り組みを一層推進している。本市では、国や県の動向を受け、今後学校の取り組みを充実させていく。日向市学校保健大会で、保護者、全教職員、関係機関等が、がんについての理解を深められるよう講演会を実施する。(教育長)



▲日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム

### 近藤 勝久 議員 からの質問

- Q1 「みなとオアシス」認定に向けてのスケジュールは
- Q2 県の協力体制は
- Q3 活力を生み出すにぎわいづくり戦略



Q1 今年7月の「細島みなと祭り」に登録を目指すことを申し合わせたとおつたが、厳しい日程の中、どのようなスケジュールを進めていくのか。

A 「みなとオアシス」については、その登録に向け、5月25日に民間企業、HOSOSHIMAまちづくり協議会、日向市漁業協同組合、日向商工会議所等による協議会が設置された。登録に必要な施設やイベント等の条件は整っているため、国土交通省九州地方整備局の協力をいただきながら、みなと祭りにおける登録証の交付を目指していきたい。(市長)

Q2 港湾管理者である県の協力が今後必要と思うが、協力体制は。

A 今回設置された協議会においても、オブザーバーとして県が入っている。今後の具体的な緑地計画や

整備等において、港湾計画を推進する主体である県と連携協力しながら進めていく。(市長)

Q3 「若者に選ばれるまち」の実現に向けて、実効性のある計画にすることも、マーケティングの発想を持つことが必要と思うが、いかがか。

A 今後も、マーケティングによるデータ分析やフェイスブック、インスタグラム等のアクセス解析をもとに、さらなるターゲットの絞り込みを行った上で、戦略的なプロモーション活動を行っていきたい。(市長)



▲みなとオアシス登録に向けて

### 友石 司 議員 からの質問

- Q1 世界ジュニアサーフィン選手権を
- Q2 選手ファーストで
- Q3 Wi-Fi設備や「食」の提供



Q1 真のおもてなしとは、とことん選手ファーストで不満や危険を解消することだと思うが、大会関係者等への対応の準備は、宿泊場や会場も含め、スムーズに進んでいるのか。

A また、宿泊地が分散することによる、運営面での負担増や会場までの移動についてどのような体制をとるのか伺う。

Q2 選手や大会関係者等の宿泊については、基本的に市内のホテル・民宿等に宿泊を勧めている。

A 近日に専用の予約サイトを立ち上げ、準備が整い次第、予約の受付を開始する予定である。(部長)

Q3 世界大会ゆえの警備に対する認識と、現状での対応策を伺う。

A 世界大会という性質上、セキュリティ対策は重要な課題と認識している。これまで本市で開催してき

たサーフィン大会以上に、安全対策を講じる必要があると考えている。(部長)

Q3 現在設置してあるWi-Fi設備は電波が弱い。強化若しくは増設の検討はされているのか。また、約40ヶ国の選手の宗教や文化の違いによる食の提供等に関して、どう対応を検討しているのか伺う。

A 大会会場のWi-Fi環境については、設備の充実を検討する。

「食」の提供については、今後「ハラール」や「ビーガン」などの対応も、対象となる選手や関係者への食事の提供や食品の表示方法等について、先進事例を参考にしながら研究していきたい。(部長)



▲ビーチに駆け出す子どもたち

## 日向市議会の ご意見箱を ご存知ですか？

皆さんからのご意見を気軽にお寄せいただくため、市内10カ所に「ご意見箱」を設置しています。

「どんなことを意見したらよいのかわからない」と難しく考えずに、議会に対する質問や相談、議会への要望、提言など「なんでも」投げかけてください。

いただいたご意見等については、常任委員会や特別委員会、議会運営委員会等で調査・検討を行い、議会活動に反映してまいります。皆さんのご意見、お待ちしています。

### ご意見箱設置場所

- 市役所市民課
- 中央公民館
- 細島支所
- 日知屋公民館
- 岩脇支所
- 大王谷公民館
- 美々津支所
- さくら館
- 東郷総合支所
- 市立図書館



## 永年勤続表彰伝達式



▲左から、木田・畝原・黒木(万)・西村・黒木(高)・海野の各議員

第93回全国市議会議長会で、本市議会から6名が永年勤続表彰を受け、6月23日の本会議終了後、その伝達式が議場で行われました。

黒木万治議員、西村豪武議員は30年以上在職、畝原幸裕議員は15年以上在職および4年以上議長在職表彰、黒木高広議員、海野誓生議員、木田吉信議員は10年以上在職によるものです。

## 情報公開制度の運用状況

平成28年度日向市議会情報公開制度の運用状況を公表します。

情報開示請求受理件数	2件
開示承諾件数	2件

### 開示請求等の対象文書の内容

- 平成27年度日向市議政務活動費収支報告書及び支出伝票
- 産業建設水道常任委員会との市民懇談会記録及び会議録

### 情報公開制度とは

市民の請求に基づき、公文書を開示することを条例で義務づける制度です。

詳しくは・・・

日向市 情報公開制度



で検索できます



## 編集後記

空の青、海の青がとても映える、爽快な夏がやってきました！学校は夏休みということもあり、子どもたちの声が元気よく響いています。海、山、川にお出かけの際には熱中症などに気を付けて、日向市の魅力ある自然を感じてください。



今定例会号から、新しい委員会構成で編集を行うことになりました。気持ちを新たに、読みたくなる、知りたくなる紙面作りに努めていきたいと思えます。(友石)

## 今月の表紙

まちの駅とみたかのリニューアルオープンと相まって、とても賑わいを見せていた、七夕まつり開催中の日向市駅構内。作品を楽しそうに見てはしゃいだりと、子どもたちの声がとても賑やかでした。



## 次回定例会案内

日向の“未来”が見える  
**議会傍聴に  
お越しください**

9月定例会は・・・

**8月25日 金**

開会予定です